

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公表番号】特表2003-523193(P2003-523193A)
 【公表日】平成15年8月5日(2003.8.5)
 【出願番号】特願2001-560240(P2001-560240)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 A 6 1 K 35/76 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)
 C 0 7 K 14/47 (2006.01)
 C 0 7 K 16/18 (2006.01)
 C 1 2 N 7/00 (2006.01)
 C 1 2 P 21/02 (2006.01)
 C 1 2 Q 1/68 (2006.01)
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00	Z N A A
A 6 1 K 35/76	
A 6 1 K 39/395	D
A 6 1 K 39/395	N
A 6 1 K 45/00	
A 6 1 K 48/00	
A 6 1 P 25/00	
C 0 7 K 14/47	
C 0 7 K 16/18	
C 1 2 N 7/00	
C 1 2 P 21/02	
C 1 2 Q 1/68	A
C 1 2 N 5/00	B
A 6 1 K 37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月25日(2008.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 P A P 1 タンパク質またはそのホモログとパーキンとの相互作用を少なくとも部分的に変調し得る化合物。

【請求項2】 前記相互作用を少なくとも部分的に、抑制、阻害または刺激することを特徴とする請求項1に記載の化合物。

【請求項3】 P A P 1 タンパク質またはそのホモログとパーキンとの相互作用ド

メインに結合し得ることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の化合物。

【請求項 4】 ペプチド型、核酸型、脂質型、糖型の化合物または抗体であることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 5】 配列番号 2 のペプチドまたはその誘導体を全面的または部分的に含むペプチド化合物であることを特徴とする請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 6】 パーキンと相互作用する P A P 1 タンパク質の部位の全部または機能部に対応する配列を有する領域を含むペプチド化合物であることを特徴とする請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 7】 非機能化したエフェクター領域を含む P A P 1 タンパク質（及び/またはその相同形態）から誘導されたペプチド化合物であることを特徴とする請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 8】 配列番号 2 の配列またはその誘導体もしくはフラグメントを含むポリペプチド。

【請求項 9】 配列番号 2 の配列の少なくとも 5 個、好ましくは少なくとも 9 個、より好ましくは少なくとも 15 個の連続する残基を含む請求項 8 に記載のポリペプチド。

【請求項 10】 配列番号 13、15、43 もしくは 45 の配列またはそれらの変異体の全部または一部、特に配列番号 13、15、43 もしくは 45 の配列の少なくとも 5 個、好ましくは少なくとも 9 個、より好ましくは少なくとも 15 個の連続する残基を含む請求項 8 に記載のポリペプチド。

【請求項 11】 請求項 4 から 10 のいずれか一項に記載のペプチド化合物をコードしている核酸。

【請求項 12】 配列番号 1、12、14、42 もしくは 44 の配列またはこれらの配列から誘導された配列の全部または一部を含むことを特徴とする請求項 11 に記載の核酸。

【請求項 13】 請求項 8 または 11 に記載のポリペプチドをコードしている核酸。

【請求項 14】 請求項 11 から 13 のいずれか一項に記載の核酸またはそれらの相補鎖とハイブリダイズし得る核酸、特にヌクレオチドプローブ。

【請求項 15】 請求項 11 から 14 のいずれか一項に記載の核酸を含むベクター。

【請求項 16】 請求項 11 から 14 のいずれか一項に記載の核酸を含む組換え欠陥ウイルス。

【請求項 17】 配列番号 16 - 41 及び 46 の配列の核酸から選択された核酸。

【請求項 18】 請求項 4 から 10 のいずれか一項に記載のペプチド化合物に対する抗体であることを特徴とする抗体または抗体のフラグメントもしくは誘導体。

【請求項 19】 請求項 9 または 10 に記載のポリペプチドを認識することを特徴とする請求項 18 に記載の抗体。

【請求項 20】 請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つの化合物または請求項 18 または 19 に記載の抗体を含む医薬組成物。

【請求項 21】 P A P 1 タンパク質またはそのホモログとパーキンとの相互作用を少なくとも部分的に変調し得る非ペプチド性化合物または専有的にペプチドの性質のものではない化合物。

【請求項 22】 請求項 5 から 7 のいずれか一項に記載のペプチドの活性モチーフが非ペプチド性構造または専有的にペプチドの性質のものではない構造で複製されていることを特徴とする請求項 21 に記載の化合物。

【請求項 23】 請求項 11 から 14 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つの核酸または請求項 15 または 16 に記載のベクターを含む医薬組成物。

【請求項 24】 請求項 4 から 10 のいずれか一項に記載のペプチド化合物を含む医薬組成物。

【請求項 25】 神経変性疾患の治療に使用が意図される請求項 22 から 24 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 26】 配列番号 2 の配列または配列番号 4 の配列またはそれら配列のフラ

グメントに結合し得る分子の選択段階を含む活性分子のスクリーニングまたはキャラクタリゼーション方法。

【請求項 27】 配列番号 13、15、43 及び 45 の配列またはそれら配列のフラグメントから選択された配列に結合し得る分子の選択段階を含む活性分子のスクリーニングまたはキャラクタリゼーション方法。

【請求項 28】 請求項 11 から 14 のいずれか一項に記載の核酸または請求項 15 または 16 に記載のベクターを含む細胞を前記核酸の発現条件下で培養する段階と、産生されたペプチド化合物を回収する段階とを含む請求項 4 から 10 のいずれか一項に記載のペプチド化合物の製造方法。

【請求項 29】 単離された形態のヒト P A P 1 タンパク質。

【請求項 30】 請求項 11 から 14 のいずれか一項に記載の核酸または請求項 15 または 16 に記載のベクターを含む細胞。

【請求項 31】 請求項 11 から 14 のいずれか一項に記載の核酸をその細胞中に含むヒト以外の哺乳動物。